

「第3期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」にお寄せいただいたご意見と砂川市の考え方

○意見募集期間：令和8年2月27日(金)～令和8年3月20日(金)

○意見提出者数：2人

○意見提出数：8件(個人8件)

○意見要旨及び意見に対する砂川市の考え方

※意見などについては原文の通りとしていますが、一部読みやすくするため修正などを行っています。

No.	寄せられたご意見など	ご意見などに対する市の考え方
1	<p>1～2ページ 施策が広範で、人口規模に対して重点が分かりにくいと感じました。限られた行政資源を踏まえ、重点施策を明確に整理していただきたいです。</p>	<p>第3期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「第3期総合戦略」といいます)では、人口減少を受け止めた中で持続可能なまちづくりを進めるため、2ページに記載に掲げている「めざす姿」をもとに、4つの基本目標に分けて推進する施策を整理しておりますが、産業振興、子育て支援、暮らしのサービス向上など、多様な面から包括的に推進することを基本方針としております。各施策は相互に影響し合うものであり、特定の分野のみを重点化することは難しいと考えますが、各施策が相乗効果を発揮できるよう努めてまいります。</p>
2	<p>3～4ページ KPIの設定方針は示されていますが、具体的な指標例がなく、市民として評価が困難です。移住者数、出生数、空き家活用件数など、検証可能な指標例の提示を希望します。</p>	<p>5ページ以降、基本目標ごとに数値目標を設定するとともに、重点事業として「具体的な事業」を掲載し、それぞれに設定したKPIも掲載しております。また、KPIの多くは年度ごとに目標値を設定しており、毎年、目標に対する実績値、実績値の増減理由等の分析を含めた事業の進行管理を担当部署で行った後、市内各団体から構成している砂川市総合戦略推進委員会において評価を行います。進行管理に係る資料を含めた、総合戦略推進委員会の会議資料・会議録については、砂川市ホームページで公開しております。</p>
3	<p>5～8ページ 産業振興の方向性は妥当ですが、砂川市の強み(菓子産業、農業、医療、国道12号沿線商業)との結びつきが弱く、具体性に欠けます。地域特性を踏まえた施策の明確化を希望します。</p>	<p>砂川市の特性・現状を踏まえた具体的な施策として、(1)「①商工業振興策の実施」においては、例えば、砂川市の地域資源や地域産業を活かした製品づくりなどに取り組み地域ブランドの定着を推進する「地域ブランド定着推進事業」を「具体的な事業」に掲載しております。その他、「②農業振興策の実施」においては、砂川市の農業の現状を踏まえた独自の補助事業である「農業経営体支援事業」、また、21ページの基本目標4(1)「②観光振興の推進・関係人口の創出」においては、砂川市の観光資源を活用した事業として、市外からの誘客及び「まちなか回遊」を促進し賑わい創出や地域の活性化につながる「スイートロード支援事業(デジタルスタンプラリー)」を掲載しているところです。これらの具体的な取り組みについて、市民の皆様へよりわかりやすく周知・広報できるよう努めてまいります。</p>

No.	寄せられたご意見など	ご意見などに対する市の考え方
4	<p>14ページ デジタル化・DXの記述が抽象的で、どの分野で何をデジタル化するのかが不明確です。高齢者のデジタル格差への対応も含め、具体的な取り組み例の提示をお願いします。</p>	<p>第3期総合戦略では、「共通する考え方」として「デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進(デジタルの活用)」を掲げており、特定の分野に限定せず、デジタル技術の活用を通じて地域課題の解決や市民サービスの向上を図ることを目的としております。</p> <p>計画内においては、すでに実施している具体的な取り組みとして、マイナンバーを活用しコンビニエンスストア等で証明書を取得できる「住民票等コンビニ交付サービス事業」を掲載しているほか、アプリ名は明記しておりませんが、現在保育所や幼稚園、学校で活用しているアプリや、母子手帳アプリ(すながわすくすく子育て応援アプリ)といった子育て支援につながるデジタルの取り組みについて「②デジタル技術を活用した子育て支援の充実」に掲載しております。</p> <p>また、高齢者のデジタル格差への対応については、公民館講座において高齢者等を対象としたスマートフォン教室を実施しておりますが、デジタルの活用不安を感じる方への支援のあり方については、今後さらなる取り組みを検討してまいりたいと考えます。</p>
5	<p>1～4ページ 施策が多岐にわたる一方で、財源や職員体制の裏付けが示されていません。実行可能性を判断できるよう、可能な範囲で説明を補っていただきたいです。</p>	<p>第3期総合戦略は、市政の根幹をなす部分である財源及び職員体制の確保を計画推進の前提として策定しておりますので、計画内においては具体的な財源・体制の明記は行いませんが、各施策の実施にあたっては、その都度、適切な予算措置と執行体制を整え、責任を持って推進してまいります。</p>
6	<p>1～2、9～16ページ 「安心して暮らせる」など類似表現の繰り返しや、「～など」「～等」が多用されていると感じられる部分があります。また、国の政策引用が長く、市独自の分析が埋もれています。表現の整理を希望します。</p>	<p>第3期総合戦略では、2ページの「めざす姿」でも掲げているように「ずっと住み続けたい」と思えるまちづくりの実現に向け、市民の皆さんに「安心感」を持っていただくことが重要だと考え、計画内にも随所に表現を重ねております。「など」「等」についても、政策の広がりを示すための必要な記述として用いております。</p> <p>また、第3期総合戦略では、1ページの「1. 策定の経過」においてこれまでの国の動向を踏まえた各計画の策定経過にふれておりますが、めざす姿、基本目標、基本目標ごとの基本的方向と具体的な事業については、砂川市の実情に沿って必要な施策を記載しております。</p>

No.	寄せられたご意見など	ご意見などに対する市の考え方
7	<p>9、11、13～15、20ページ 砂川に住んで良かったと実感している市民の一人です。その上で厚かましいことですが、私の思いを書いています。この春から「砂川学園」がスタートすること誠におめでとうございます。未来の市民になるであろう学園生の喜びは最高のことと思います。そこで「砂川学園」又は「廃校校舎」を高齢者向けの集いの学舎にしてもらえないでしょうか？高齢者は皆、母校への想いを持っていて、廃校になって消えていく事はつらいことです。楽しんで通える学園「幸楽園」。行けば元気になる場所、楽しく交流できる場所、そこへ行けば人と人との出会いあり、会話あり、癒される場所、そんな学園も計画に入れていただきたくお願いいたします。</p>	<p>砂川学園の開校にあたり、温かいお祝いのお言葉をいただきありがとうございます。ご提案いただいた「高齢者が集い、交流と癒やしを得られる場所」という視点は、第3期戦略の「めざす姿」で掲げている「誰もが安心して暮らし続けることができるまち」の観点から重要であると認識しておりますが、砂川学園につきましては、児童生徒の安全管理の観点から、一般の住民の方が自由に立ち入ることはできないため、学園そのものを高齢者の交流拠点とすることは難しいと考えます。閉校となった校舎については、児童生徒のプール授業やサークル活動に使用する豊沼小学校・中央小学校、学童保育所として使用する空知太小学校を除いた2校(砂川小学校・北光小学校)をどのように活用できるか、市民の皆様へのニーズや地域の特性を考慮し、今後検討を進めてまいります。</p>
8	<p>5～8、20ページ 愛する郷土発展の思いを込めて…砂川市民の一人として、私の思いを一言述べさせていただきます。砂川は石狩川あっての市だと思います。その地の利を生かして、石狩川の水を利用して、魚の養殖をしてみてもはどうでしょうか？昨今、海のない地方でも、魚の養殖がされており、近郊では、美唄でも「鰻」を養殖して、市内外の方に「蒲焼」が好評との事。砂川でも昔、「八つ目鰻」を捕って食べていた時代があり、それに、砂川市富平に「鮫淵」という場所があり、そこには「蝶鮫」がたくさんいたとの事で、そういう名がついたと聞いております。そのように環境は利していると思います。 新しい砂川の産業に発展することを願っています。</p>	<p>石狩川という地域資源の活用や、本市の歴史的背景を踏まえた産業創出の視点は、第3期総合戦略で基本目標1「地域資源を活かした産業・雇用をつくる」として掲げているように、重要であると考えます。養殖事業については、現時点では本市で実施する予定はございませんが、実施にあたっては、水質、法規制、設備投資等の観点から慎重な調査が必要となることが想定されます。いただいたご意見は、今後、地域資源を活かした産業振興について検討する際の参考とさせていただきます。</p>